

科目名	臨床実習 I				
分野	専門分野	担当教員	小笠原史明・山崎由紀也		
開講時期	1学年 1・2・3学期	単位数	講義	演習	実習
時間数	45				1
科目の概要	より良い治療を行なうために、臨床的にも重要な触診の仕方と解剖学を理解することで修得して行く。(小笠原) 徒手的な後療法と評価法の基礎を学ぶ。(山崎)				
科目の狙い	実際に身体の触診しながら学ぶことにより、解剖学や柔道整復学の基礎を身につける。(小笠原)				
学習の到達目標	骨・関節は、解剖学や柔道整復学が理解できるように把握する。(小笠原) 座学で得た知識と臨床をつなぐ。メジャーなランドマークを触診できる。基本的な関節運動を理解できる。(山崎)				
学習方法・学習上の注意	学生の参加型授業とする。				
持参物	解剖学教科書・配付資料(小笠原) 柔道整復理論 解剖学(山崎)				
講義計画	講義内容				
1	肩鎖関節・胸鎖関節・肩甲骨(小笠原)				
2	上腕骨(小笠原)				
3	上腕骨(小笠原)				
4	前腕骨(小笠原)				
5	前腕骨(小笠原)				
6	手根骨(小笠原)				
7	骨盤骨(小笠原)				
8	骨盤骨(小笠原)				
9	大腿骨近位部(小笠原)				
10	大腿骨近位部(小笠原)				
11	膝蓋骨・大腿骨遠位部(小笠原)				
12	膝蓋骨・大腿骨遠位部(小笠原)				
13	脛骨近位部(小笠原)				
14	脛骨近位部(小笠原)				
15	腓骨・足関節部(小笠原)				
16	腓骨・足関節部(小笠原)				

17	手技療法の種類 軽擦法(山崎)
18	手技療法の種類 強擦法(山崎)
19	手技療法の種類 揉捏法(山崎)
20	手技療法の種類 叩打法(山崎)
21	手技療法の種類 振戦法(山崎)
22	手技療法の種類 圧迫法(山崎)
23	手技療法の種類 伸長法(山崎)
24	臀部へのアプローチ(山崎)
25	大腿後面へのアプローチ(山崎)
26	大腿外側へのアプローチ(山崎)
27	下腿へのアプローチ(山崎)
28	腰背部へのアプローチ(山崎)
29	頸部へのアプローチ(山崎)
30	まとめ(山崎)
成績評価の方法と基準	主に出席、デイリーノートなど提出で評価を行う。
使用テキスト	解剖学(医歯薬出版)、プリント配布
参考文献	解剖学改訂第2版(医歯薬出版)、機能解剖学的触診技術(上肢・下肢・体幹)改訂版第2版メディカルビュー社